

# ふくしの森ステーションはらいちばだより

発行：飯能市社会福祉協議会・ふくしの森ステーションはらいちば（原市場福祉センター内）  
 電話：070-7792-2440 FAX：042-973-8941  
 メール：station-haraichiba@hannosyakyō.or.jp  
 担当：コミュニティソーシャルワーカー・亀崎、小林

## 【春分の日は休み】セブン-イレブン日高下川崎店と社協の移動販売情報

名栗・原市場コース/祝日のぞく第1、3（木）  
**3月6日 / 4月3、17日**

中沢・中藤コース/祝日のぞく第1、3（金）  
**3月7、21日 / 4月4、18日**

原市場福祉センター	10:45~11:10
吉田木材工業(株)そば	11:25~11:40
名栗地区行政センター	11:50~12:10
太行路前	12:15~12:30
○赤沢地区（場所は問合せ）	12:40~13:00
海の家（旧志久屋）	13:10~13:25
唐竹つつじヶ丘自治会館そば ※自治会館までの坂の途中でも随時実施	13:35~13:55
ベテラン館はらいちば	14:05~14:30

中藤杉の木台自治会館	10:45~11:05
ハウジング橋そば（中藤堂西）	11:15~11:30
中藤下郷バス停そば	11:35~11:45
中藤コミュニティ広場	11:50~12:00
（旧）おかのや	12:05~12:15
○南地区（場所は問合せ）	12:25~12:35

大雪など荒天の場合は中止となる場合がありますので、ご利用前にお問い合わせください。

【○】赤沢地区、南地区：私有地のため実施場所の詳細はお問い合わせください。

## ふくしの森ステーションはらいちばのコミュニティソーシャルワーカーが健康やお金の『もしもの備え』を一緒に考えます！

健康やお金の問題について『私は大丈夫！』と誰もが思いたいところですが、『もしもの事態』は、いつ、誰にでも起こりえることです。

もし、『ちょっと心配だな』『すこし話を聞いてほしい』という方は、『ふくしの森ステーションはらいちば』にお気軽にご相談ください。

まずは一緒に『心配ごとの整理』をさせていただきます。また、相談内容に応じて『市の専門機関や相談員のご紹介』をさせていただきます。

例えば・・・

- ひとり暮らしで今後について不安がある
- お金のやりくりが心配だ
- 心や体の健康状態に不安があるが誰に相談してよいかわからない
- 心配ごとが沢山あるので話を聞いてほしいなど

電話での相談、ご自宅への訪問、原市場福祉センターでの相談など、ご希望に応じます！

# 地域ふくし発見!

飯能市内の地域福祉に関する素敵な活動や取組みをふくしの森ステーションのCSW(コミュニティソーシャルワーカー)が取材・発信していきます。

【今回のトピック】

## 赤い羽根共同募金



赤い羽根共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、高齢者や障がい者、こどもたちに向けたさまざまな活動を支える「じぶんの町を良くするしくみ。」として取り組まれています。

社会福祉法において、「地域福祉の推進を図るため」と規定され、毎年、厚生労働大臣の告示によって、全国一斉に取り組まれます。

皆さまからお預かりした募金は飯能市内における福祉活動の推進のための財源として大切に活用させていただいています。

### 募金の使い道について

#### 小中学生に向けた福祉教育の取り組みに

#### 被災地でのボランティア活動に



今年度は、市内小中学校8校の福祉教育の取り組みに活用されています。

能登半島地震で被災した、石川県、富山県に全国の都道府県共同募金会から約3億3千万円が拠出されました。

#### 身近な地域の居場所づくりに



今年度は、ふれあいいきいきサロン17団体、地域福祉推進組織7団体の活動に活用されています。

そのほかに、見守り活動の推進やひとり親家庭の支援、フードバンク事業、広報費などに活用されています。

皆さまからご協力いただいた募金は、約50%を飯能市内での地域福祉の推進のための活動に活用させていただくほか、残りの約50%は県内の活動に活用しています。

また、募金の3%は災害時のボランティア活動のための準備金として積み立てられており、もしも飯能市で大きな災害が起きた場合は、全国から応援が届く仕組みになっています。

赤い羽根共同募金について  
(飯能市社会福祉協議会ホームページ)

